

小清水町防災拠点型複合庁舎

施設の通称名(案)「ワタシノ」へのご意見を伺います。

令和5年5月に供用開始をめざす小清水町防災拠点型複合庁舎の整備については、これまで広報こしみすなどで、建設に向けた考え方や盛り込む機能などについてお知らせしてまいりました。

施設整備にあたっての「理念」のひとつには、「“にぎわい”は、人が集まる場所にコミュニケーションが生まれる場所」と定義し、一過性の“にぎわい”ではなく、持続性を持たせ町民の皆さんが衣食住の質を高めながら、人とひとによる交流を楽しめる空間として感じられるような仕組みを取り入れました。

ふたつ目の「理念」には、町民の皆さんや訪れる方が親しみやすく、身近に感じられる仕組みとして、「フェーズフリー：日常時と非常時という2つのフェーズ（隔たり）をフリー（無くす）とする」の考え方を取り入れ、平常時から災害時まで、状態や状況に左右されない施設づくりをめざしました。

温泉熱による床暖房を設置するフィットネスは災害発生時には一時避難場所に、付帯するシャワールームやコインランドリーは衛生環境の保持に、カフェは温かい飲み物を提供できるなど、優位性を発揮する仕組みを取り入れました。



◆2つの「理念」を実現するため、基本計画、基本・実施設計におけるコンセプト
「町民一人ひとりが、“ワタシノ居場所”と思える場所づくり」

施設の通称名を「ワタシノ」としたい理由

実施設計に至るまでコンセプトとしてきた「町民一人ひとりが、“ワタシノ居場所”と思える場所づくり」は、用事がなければ行かない、普段は行く必要がないと思われていた役場庁舎という場所を誰でも気軽に安心して過ごしていただける、一人ひとりが“ワタシノ”空間として愛着をもって、ご利用いただける施設となることをめざしました。

一人ひとりが「ワタシノ」の意識を持ち利用されることで、「みんな」が集う、コミュニティが生まれることを大切にしたいと考え、このコンセプトが生き続けるためにもキーワードの「ワタシノ」を変えることなく、この建物の通称名として名付けたいと考えています。

「ワタシノ」の意味は？

施設ネーミングのコンセプト

ワタシノ

町民一人ひとりが“ワタシノ居場所”と思える場所づくり

活動を空間に合わせるのではなく、空間を活動に合わせることもできる

可変的で多様性のある空間

そこで 町民自身が能動的に活動を広げ

地域の活性化をはかるための拠点。



町民一人ひとりに、施設の機能の多様性・広がりを感じてもらおう

町民自身が中心になり能動的になってゆく可能性をイメージさせる

加えて、小清水町らしさを演出し、小清水町に愛着をもってもらえるような

意見の提出期間

令和4年1月6日（木）から1月31日（月）

提出できる方

町内に居住または通勤・通学する人

提出方法

ご意見は文書で直接、または郵送・ファクス・Eメール（住所、氏名、電話番号を記入、様式自由）で、新庁舎整備推進室にお寄せください。

※住所及び氏名が明記されて提出いただいた意見を、今回のパブリックコメントとして受け付けます。

提出先・お問い合わせ先

小清水町役場 新庁舎整備推進室

TEL 0152-62-4470 FAX 0152-62-4198

Eメール chousha@town.koshimizu.hokkaido.jp

町民皆さんの忌憚のないご意見をお待ちしております。